

ロータリー月例報告 2022 年 7 月(2022 年 8 月提出) :

2021-22 年度 地区補助金奨学生

スウェーデン・ヨーテボリ大学

和田 哉恵

7 月はスウェーデン語学学校も夏季休暇に入り、北欧の夏を満喫した 1 か月でした。今回の月例報告ではそんな 1 か月間の様子についてお話ししたいと思います。

7 月は 3 週間ほど北部ウメオに滞在し、最後の 1 週間はヨーテボリに戻ってのんびり過ごしました。7 月初めにはロータリー奨学生の先輩である重井さん・兼田さんに誘っていただき、北大生をメインとした海外大学院学位留学説明会(オンライン)にて発表をさせていただきました。久々に日本語での発表でどこか緊張しながらの発表でしたが、説明会を通じ研究室の後輩や同じ研究分野に関心のある学生さんと交流することが出来て良かったです。また、北大在籍時にお世話になった担当教員の教授にも発表を見てコメントを頂き、この 1 年間で少しではありますが成長することが出来たんだ



写真 1: 午後 11 時過ぎにも関わらずまだ明るい外の様子。冬は午後 3 時過ぎには暗くなるのでその差に驚きました。

など何故かしみじみと感じてしまいました。説明会の翌週にはフィンランドの修士課程に通う友人と再会することが出来ました。ウメオからアクセスが良かったため、今回はフィンランド北部のヤーコブスタッド (Jakobstad) にある彼女の友人のお宅にお邪魔させていただきました。その友人の方とは初めて会うにも関わらず、ご家族も快く出迎えて頂き大変充実した 2 日間を過ごすことが出来ました。ヤーコブスタッドは住民のほとんどがスウェーデン語を第一言語として話す地域で、私の知り合いのフィンランド出身の方は皆さんフィンランド語話者の方だったので、これまで聞くことの出来なかったお話をたくさん聞くことが出来て面白かったです。また、ウメオのパートナーのご家族の別荘に泊った際には、近くの森にて念願のベリー摘みもしました。予想外のところにあった沼に膝上までずっぼりとはまってしまいちょっと怖かったです。お目当てのクラウドベリーとブルーベリーを積んでジャムを作り、美味しく頂けることが出来大変満足しました。次回は沼にはならないよう気を付けようと思います。ヨーテボリに帰って来てからは、ロンドンに語学留学中のパートナーの友人がわざわざ遊びに来てくれたので、一緒にヨーテボリ近郊にある群島に行ってきました。夏の間は旅行客で賑わう島々ですが、それでも市街地に比べゆったりとした時間が流れており、のんびりと過ごすことが出来ました。

8 月は言語学校も再開し、さらに中旬からはインターンシップも始まります。留学も 2 年目に突入し、生活面でも勉強面でも慣れて来たので、色々なことに積極的に挑戦し充実した新年度に

していきたいです。7月はそんな新たなスタートに向けた、リフレッシュの1か月として楽しく過ごすことが出来て良かったです。



写真2：森で見つけたクラウドベリー。森の奥の湿地まで行かなければ見つけられないため、見つけた時の喜びは大きかったです。



写真3：ヨーテボリ近郊の群島の1つBrännöでの1枚。島全体が車禁止のため、静かで空気が住んでいました。水も透明で、水中の魚やクラゲまで観察することが出来ました。